

お知らせ

J-STAGE 公開へ向けて論文・速報の投稿手続きが一部変わります

出版部会

砥粒加工学会では、論文・速報の J-STAGE 公開を目指し、準備を進めています。J-STAGE とは、「科学技術情報発信・流通総合システム (Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic) の略称で、日本国内の科学技術情報関係の電子ジャーナル発行を支援するシステムです。論文・速報を J-STAGE で公開することで、砥粒加工学会誌で発表された研究開発の成果は、インターネットを通じて全世界へ発信され、また国内外の様々な電子ジャーナルサイトとのリンクにより、引用文献への相互アクセスが可能になります。

1. 参考文献の英文化と英文要旨・英文所属情報の追加

J-STAGE は海外からのアクセスを前提としているため、できるだけ充実した英文情報の開示が求められます。しかしながら、論文内容等の英文化は国内での情報流通の妨げとなり、会員の利益喪失や、執筆者への負担増に伴う投稿意欲の減退など、デメリットも大きいことから、今回は標記の 3 項目についてのみ英文化に対応することになりました。これに合わせて、執筆要綱等の改訂を行いましたので、詳細については執筆要綱および論文テンプレートファイルを参照して下さい。

参考文献の英文化

これまでどおり和文献も引用することができますが、和文献を引用する場合でも、原則として英文で表記して下さい。ほとんどの学術論文は和文であっても、英文の標題及び雑誌名を持っていますので、原著にならって表記して下さい。単行本など英文タイトル等の無い文献については、無理に英訳せず、和文のまま表記して下さい。

所属情報の英文化

英文の所属は 1 ページ目左下のフッターに和文情報と併記してください。住所については英文化する必要はありません。詳細は論文テンプレートファイルを参照して下さい。

英文要旨の掲載

投稿時には従来どおり和文要旨を含んだ原稿を提出していただき、英文要旨については、掲載決定後に別途提出していただきます。学会誌には、その号に掲載された論文の英文要旨をまとめて別ページに収録します。海外からのアクセスの入口になる情報ですので、正確かつ魅力的な英文要旨を作成してください。ネイティブによるポリッシングをご希望の際は、事務局にお問い合わせ下さい。

2. 原稿連絡表の Excel ファイル化

J-STAGE 公開に必要な書誌情報を効率的に作成するため、原稿連絡票を Excel ファイル化しました(図 1)。基本的な書式は、従来の原稿連絡表と変わりませんが、ここで入力した情報が、そのまま J-STAGE 公開用データとして利用されますので、正確に記入して下さい。論文原稿 Word ファイルが完成した後に、そこからコピー&ペーストすることをお奨めします。投稿時には、プリント

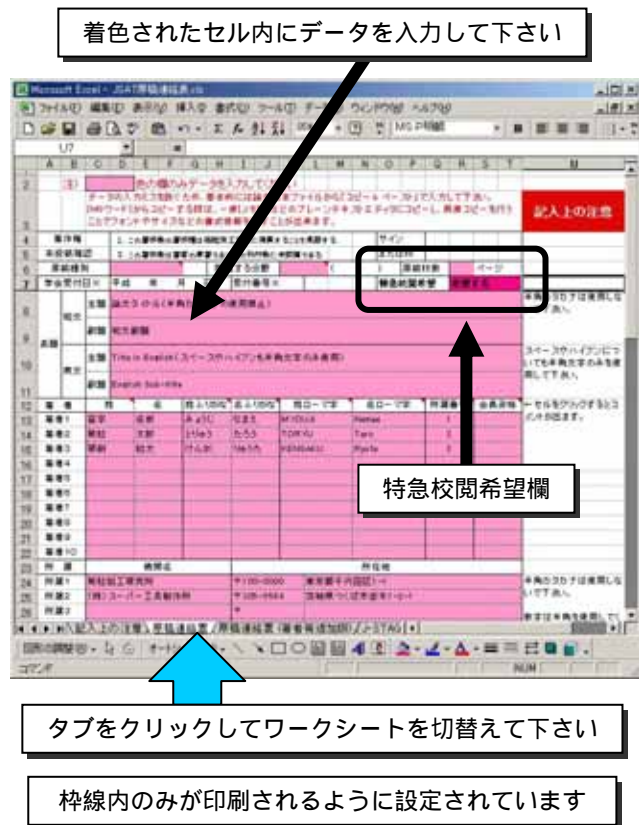


図 1 新原稿連絡票のウィンドウ画面

アウトした論文原稿(紙)3部に原稿連絡票(紙)を添えて、郵送して下さい。掲載が決まったら最終原稿を再提出しますが、その時に原稿連絡票 Excel ファイルの「J-STAGE データ」ワークシートにキーワード、参考文献等を追加記入して、論文原稿 Word ファイルおよび英文要旨 Word ファイルと共に電子媒体に記録して送付して下さい(図2)。

3. 「特急校閲制度」の新設

一日でも早く情報を発信するために、特急校閲では、概ね1ヶ月以内に掲載の可否を決定・通知します。校閲結果の照会および回答は電子メールで行います。ご利用を希望される方は新原稿連絡票の特急校閲希望欄で「希望する」を選択し(図1)、原稿連絡票及び論文・速報原稿の電子ファイル(PDF)を添えて投稿していただきます。特急校閲料として別途2万円を申し受けますが、「掲載否」の場合でも返還しませんので予めご承知置ください。その他の校閲基準は従来どおりです(図2)。

著者の皆様のご負担が増えることもあります、よろしくご理解ください

J-STAGE 上での公開は、49 巻(2005 年)以降に出版された論文・速報が対象となっております。すでに掲載済みまたは掲載が決定している論文・速報についても、公開準備を速やかに進めるため、著者の皆様には英文要旨を含め、新原稿連絡票等への記入をお願いすることがあります。著者の皆様方にはたいへんなご負担をいただくこととなりますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、改訂された執筆要綱、論文原稿テンプレート、新原稿連絡票については、学会ホームページからダウンロードできますのでご参照ください。

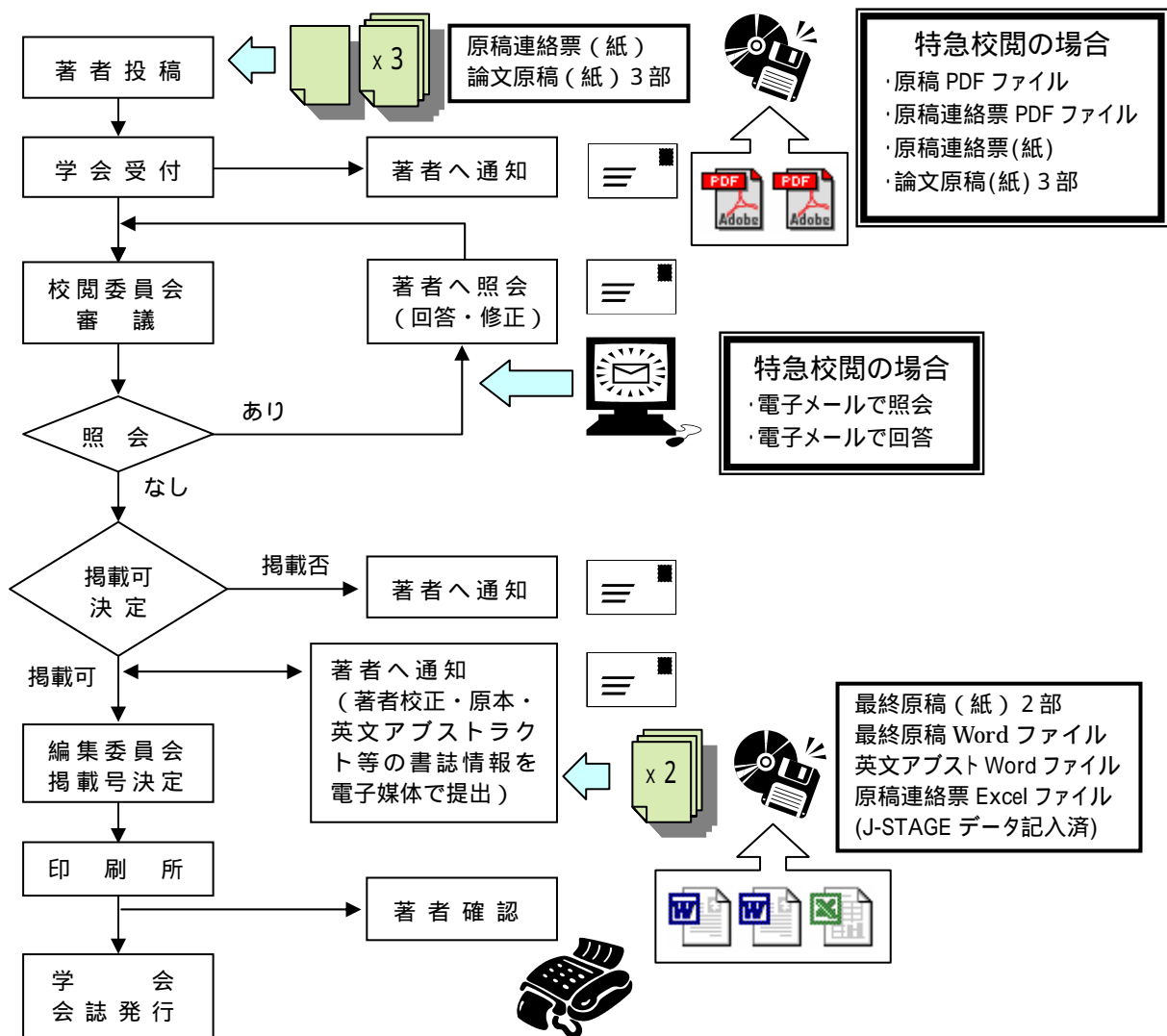


図2 投稿から会誌発行までの情報(媒体)の流れ